

ひきこもり、生活困窮、孤独や孤立など リンクワーカーが相談をお受けします

リンクワーカーとは、さまざまな生活課題を抱える人や地域社会との関わりが希薄な人など、制度やサービスの狭間にいる人たちへ、いろいろなアプローチと定期訪問で信頼を築き、社会資源へとつなげる橋渡し役です。北本市は、全国でも初めて、令和7年度から公設のリンクワーカーを配置し、民生委員・児童委員や自治会の会議、地域の子ども食堂などで支援を必

要とする人の情報を集め、支援機関や地域の活動へつなげてきました。4月からは2人に増員し、「織月」を拠点に、より多くの困りごとを抱える人たちの支援を行うとともに、市民の皆さんが世代や属性の垣根を越えて人と関わり安心して過ごすことができる多世代・多機能型の居場所の運営を行います。

リンクワーカーの詳細はこちら▶



リンクワーカー
☎ 090-3659-2025
✉ link-worker@mimamori24.co.jp
※平日 8:30 ~ 17:15

公設は
全国
初



活動の立ち上げも支援 キッチン完備！子ども食堂や チャレンジ出店にもご利用ください

「織月」には、ふるさと納税型クラウドファンディングの資金を活用した約15畳のシェアスペースとシェアキッチンが設けられています。このスペースは、市民の皆さんが子ども食堂や地域食堂などの食に関する取り組み、学習支援、子育てサロン、地域の会議などのさまざまな用途で利用できます。新たな地域活動を立ち

上げるにあたっては、リンクワーカーが伴走支援を行います。さらに、チャレンジ出店にもご利用いただけます。**【利用情報】**原則として、子ども食堂や地域の会議等は無料で利用できます。出店の場合は、売り上げに応じた利用料金を設定しています。詳細はお問い合わせください。

地域を照らす、みんなの居場所

世代や属性を超えて相互に関わり合い、助け合う、
地域共生社会の実現を目指すための拠点
“まちのリビングルーム”「織月」がオープンします。

☎ 594-5517



3月8日に開催された「織月」のお披露目会には、福祉関係者や支援者等が駆け付けました。設備を整えたキッチンで調理されたチキン南蛮や煮物等が振る舞われ、参加者は食事をしながらお互いの活動について情報交換したり、「織月」の活用法について一緒に考えたりと、交流を深めていました。

まちのリビングルーム 織月(せんげつ)



住所 西高尾 4-198-5
開設時間 平日 8:30 ~ 17:15
☑ 平時はリンクワーカーが相談をお受けします。子ども食堂などの地域活動やチャレンジ出店等にご利用いただけます。使いたい人募集中！ご相談ください。

☎ まちのリビングルーム 織月 (☎ 090-3659-2025、✉ sengetsuibasho@gmail.com、@sengetsu2026)

4月スタート！「そらまめ食堂」

年代問わず利用できる地域食堂です。
☎ 第1日曜日 12:00 ~ 15:00
第3火曜日 17:30 ~ 19:30
☎ お問い合わせください。

☎ そらまめ食堂
☎ soramameteam@gmail.com、
@soramameteam

「私たちも「織月」を使いたい！」



ハイワールド!! で子ども食堂「ひなとま食堂」を開催しています。「織月」でもコラボできたら嬉しいですね。



「自立訓練てんとつむし北本」で働いています。利用者さんの居場所づくりや地域活動のお手伝いの場として利用したいです。

「織月」の名は、月のように優しく地域を照らす場所になりたい、との思いを込めてつけられました。子育て世帯や障がいのある人、地域に長く住んでいる人も最近転入された人も、分け隔てなく交流や支え合いが生まれる温かな居場所となることを目指します。皆さんのご利用をお待ちしています。

市は、さまざまな生活の困りごとを抱える人たちに対し、市内外の支援機関・地域の関係者が連携して制度や機会を組み合わせながら解決を図る「重層的支援体制整備事業」に取り組んでいます。その一環として、課題解決だけでなく、支える側と支えられる側を問わず、世代や属性を超えて相互に関わり助け合う、地域共生社会を目指す拠点「多世代・多機能型居場所

「織月」が4月からオープンします。孤独や孤立、ひきこもり、8050問題(※)、子育ての孤立感、隣人関係の希薄さなどの社会課題に対して、「織月」は「食と学び」を提供し、誰かにつながる環境、安心できる空間づくりを実践していきます。さらに、リンクワーカーが困りごとの相談も随時受け付けて、解決のための伴走支援も実施していきます。

※ 80代の高齢の親が、ひきこもり状態などにある50代の子どもの生活を、親の年金や資産で支える経済的・精神的困窮の社会問題